

審議会等の会議の概要記録

会議の名称	令和4年度第3回甲州市地域医療体制審議会
開催日時	令和5年2月1日(水) 17:30~19:00
開催場所	甲州市役所本庁舎 2階 第一会議室
議題	<p>●報告</p> <p>1.地域医療審議会開催予定</p> <p>2.医療と介護の課題と解決策の検討</p> <p>①高齢者数の維持・ひとり暮らし世帯の増加に対応したサービス提供</p> <p>②医療・介護資源の制約がある中で何をする事が効果的か</p>
出席委員	(敬称略・順不同)田邊有久委員、田中千絵委員、松本令子委員、雨宮正明委員、坂本覚委員、日原聖子委員、中村功委員、鶴田甲敬委員、依田博俊委員、櫻井希彦委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	—
傍聴人の数	なし
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	<p>○事務局:健康増進課</p> <p>○出席者 10名</p> <p>広瀬猛副市長</p> <p>健康増進課 7名(内田課長、姫野、山本、横瀬、矢澤、野澤、宮本)</p> <p>介護支援課 1名(武藤)</p> <p>みずほリサーチ&テクノロジーズ 1名(戸高主任)</p>
その他	

令和4年度第3回甲州市地域医療体制審議会

司会進行:事務局 内田

開始 17:30 終了 19:00

1. 開会	司会による開会宣言
2. 会長あいさつ	時候の挨拶、体調管理から新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの状況に触れ、本日の会議内容を説明
3. 議事	議事進行は条例により、会長が議長を行うことを説明。会長による議事進行(以下のとおり)

議事(1) 地域医療審議会開催予定

議事(2) 医療と介護の課題と解決策の検討

① 高齢者数の維持・ひとり暮らし世帯の増加に対応したサービス提供

説明:事務局 戸高(みずほリサーチ&テクノロジーズ)

○鶴田委員

甲州市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画書について、委員のみなさんに配布した方が良いのではないか。医療と介護の連携強化や高齢化が急速に進行していることを考えると在宅医療や介護の提供などの体制整備を進めていくことが重要だと思う。また、勝沼病院は在宅医療の一端を担う重要な役割を持っていると思う。

○事務局:内田

甲州市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画については市民に公開されているが、膨大な資料の中で本日はこれからの公的医療機関の医療機能に対する高齢者の現在のニーズなど、ポイントのみお示しした。高齢者の考えや希望に対してどのような医療を提供していくかという議論に役立てていただきたい。次回の審議会で計画書の概要版を用意させていただく。

議事(3) 医療と介護の課題と解決策の検討

② 医療・介護資源の制約がある中で何をする事が効果的か

説明:事務局 戸高(みずほリサーチ&テクノロジーズ)

○坂本委員

訪問診療と往診の違いについて教えていただきたい。

○田中委員(大藤診療所医師)

病院に通院する場合、受診をした日に次回の予約を取って定期的に通院していると思うが、その形で自宅に医師が向かう方法が訪問診療。月に1回など定期的に決まった間隔で慢性疾患に対する処方や経過を診ている。往診は定期的に訪問診療で伺っていたとしても、急に具合が悪くなった、熱が出たなどの理由で連絡があり伺うもの。普段は診療所へ通院していても熱などで動けない場合に自宅へ伺うものも往診となる。大藤診療所では訪問診療、往診ともに行っている。

○雨宮委員

塩山市民病院はどのような立場にある病院なのか。定期的に通院する方を診たり病床を持っていると思うが塩山市民病院の立ち位置を教えていただきたい。

○事務局：内田

公的医療機関の医療機能についての検討を行ってきた。塩山市民病院は山梨厚生会が経営している民間の病院であるという位置づけがある。医療機能としては、入院・入所は療養入院、回復期リハ、地域包括ケア、一般入院の機能があり、通院・通所は慢性期外来、リハビリ外来の機能を担っている。地域の高齢者が長く療養を続けながら通院や入院ができるような機能を持っている。

○松本委員

訪問診療の実施件数は甲州市が少なくなっている。ステーションの利用者が訪問診療を希望し病院を紹介しているが、バックベッドのある病院を希望する方が多い。入院もできて訪問診療できる先生が3人いる体制のできた牧丘病院を紹介していることもあり、このような件数になっていると思う。勝沼や大和の地域の方は牧丘病院が遠く感じており勝沼病院が牧丘病院のような機能を持ってほしいと思っている方が多いと思う。利用者を支える立場としてもそのようになって欲しいと思っている。

○田中委員（大藤診療所医師）

塩山市民病院は訪問診療・往診を行っていないが、甲州市の高齢者施設の嘱託医は塩山市民病院の先生が担っている。施設内のコロナ発症者への対応やワクチン接種なども含めた医療提供の大部分は塩山市民病院の先生が行ってくれている。

○事務局：戸高

塩山市民病院の補足説明になるが、外来については多くの方が山梨厚生病院から来ている。入院については約160床、稼働80%となっている。療養病棟は約90%、回復期リハ、地域包括ケアの病床は80%に満たない状況である。勝沼病院、塩山市民病院ともに病床については空きがある状況。

○雨宮委員

高齢者は近くの病院で診てもらいたいと思う。最初に行った病院でずっと診てもらうことはできないのでしょうか。

○事務局：戸高

医療の性質の問題がある。一つは医療資源の問題。塩山市民病院も勝沼病院もすべての病気を診ることができる先生が居るわけではないため、患者さんに寄り添って十分な治療ができるよう他の病院を紹介している。在宅については牧丘病院など体制が整っている病院を紹介する。厚生病院などは手術したりする場なので2週間ほど入院したらで近くの病院へ移る、その機能が塩山市民病院や勝沼病院にある。機能分化されているのが今の医療制度となっている。

○松本委員

専門性のある病院での受診は大変なので、日々は近場の病院や訪問診療での受診、必要な時には専門の先生の所へ行くなど並行して診てもらう方もいらっしゃる。

○櫻井

訪問診療の実施状況について、医療機関の提供する訪問診療の件数なので他市町村との比較が難しい。患者の居住地での統計はないのか。

○事務局：戸高

患者の居住地でのデータがなかったため、今回は医療圏単位でみたときの推計値でお示しした。甲州市の患者さんは牧丘病院に頼っている部分が多いため、牧丘病院に甲州市の患者さんがどれくらい居るか聞いてみる方法も考えられる。

○中村会長

勝沼病院の医師のリソースについて、訪問診療をやってほしくても先生が居なければできないと思う。制約がある中で考えていくのか、制約を考えず希望を出した方が良いのか。

○事務局：内田

医療経営については山梨厚生会にお願いしているが、地域医療構想が示されたこと、高齢者が増えているなかで公立病院の在り方や医療機能を見直していくことは全国的にもあり、今回勝沼病院の機能についても見直しを行う流れとなっている。市として病院に期待するところは考えを定めなければならないと考えている。

そのためにみなさんにもご意見をいただきたいと思う。医師のリソースについては勝沼病院だけでなく全国的に問題となっているが、指定管理者へは公立病院として勝沼病院を今後どのようにしていくか考えを示し、そのかたちでやっていただきたいという要望を出していきたいと思っている。委員さんから勝沼病院に希望するご意見を出していただければと思う。

○坂本委員

訪問診療・往診を実施している診療所やクリニックはあるのか。

○事務局：戸高

甲州市内にもある。訪問診療の考え方について、この地域では訪問診療よりも外来で患者さんに来てもらう方が経営的には圧倒的に良い。都内のように密集した地域であれば訪問診療もビジネスとなる。また、外来を診ているときに往診にすぐ行けるのか、という問題もある。件数を制限しながら対応しているのが現状である。

○松本委員

訪問診療については甲州市内のクリニックの先生にも往診や看取りも含め対応していただいております、遠くの患者さんも診てくれている。外来中に往診の連絡があった場合には、訪問診療を行っている先生と訪問看護ステーションが連携しているので、訪問看護師が先に自宅へ伺い、状況を先生にお伝えする対応もしている。先生と訪問看護師が連携しなければならない、ステーションとしてもそれが役割だと思っている。

○田中委員（大藤診療所医師）

牧丘病院や大藤診療所もクリニックの先生と連携しているので、クリニックの先生が診に行けない場合にバックアップするなど協力しながら対応している。

○事務局：戸高

牧丘病院に頼っているのが現状なので、今後、勝沼病院や塩山市民病院がどのように対応していくか、訪問看護ステーションと連携し、どのような役割を發揮するのか、ということが今後のテーマとなる。

○坂本委員

訪問診療・往診の経営について、牧丘病院の経営が事例としてあるので、経営として勝沼病院や塩山市民病院でもできるのか、希望としては勝沼病院が牧丘病院と同じようなものになればと思うが、次回の審議会では経営面で現実的に可能なのか分かる資料を出していただきたいと思う。

○事務局：戸高

牧丘病院の事例は全国的にも珍しく、在宅診療の核となる先生が居て、他の先生が集まってきているということを知っているため同じように訪問診療することは難しいかもしれない。牧丘病院がどのような体制で運営しているかは確認させていただきたいと思う。

○中村会長

イニシャルコストやランニングコストがどれくらいかかるのか、次回の審議会では資料を出すことができるのか。要望があっても実現可能なのか分からないので、パターンごとにどのような経営になるのか分かる資料があれば委員さんも意見を出しやすいと思う。

○事務局：内田

次回の審議会では資料を出すことは可能である。将来的に勝沼病院をどのようにしていくことが市民にとって良いか、市の財政にも負担が少ないか、という視点で考えていきたい。そのようなことが分かる資料を次回の審議会でご用意いたします。

●議長：中村会長

今回の会議では勝沼病院が訪問診療に力をいれていただきたいという流れとなったが、次回はコストや経営のことも含めた資料を出していただき検討したいと思います。本日予定していた議事を全て終了しました。

4.閉会

司会による報告

次回は今年度、最後の審議会となる。3月22日（水）を予定している。事務局より通知でお知らせする。本日は、以上をもって終了とする。